

和歌山大学
クリエ映像制作プロジェクト
CM制作 2014年度ミッション成果報告書
作成者 平野勇登

1.目標

- ・スケジュール通りに作品を完成させる
- ・一人一人が映像制作における基本的な技術を身につける
- ・NHK全国大学放送コンテストでの入賞

2.目的

クリエ映像制作プロジェクトに新たに加わるメンバーには、中には高校時代に放送部などで映像を作ったことがある人もいるが、カメラも編集機材も触ったことのない初心者も多くいる。そこで、少人数の班に分けてCM作品を実際につくっていくことで企画、撮影、編集の一連の流れを学ぶことがこのミッションの主な目的である。また、クリエ映像制作プロジェクトに参加した当初から作品を自分たちが主体となってつくっていくことで、自分のアイデアが作品として形になっていく楽しさを知り、各々の主体性、モチベーションの向上にもつながる活動とする。

3.主な活動内容

4月～7月にかけて週1回のペースで機材講習会を行う。機材講習会では、クリエ映像制作プロジェクトで所有しているカメラのEX1、EX3 2台と編集ソフトAdobe Premiere Pro、照明機材等の使い方を学ぶ。

6月から並行して1回目のCM制作を行っていく。1回目のCM制作では11人いる一回生のメンバーを4班に分け、1班1作品を制作する。1回生が2～3人と上回生が1人で1班になり少人数で行っていくことで全員が映像制作に関する知識、技術、経験を得ることが出来るようになる。制作するCMはNHK全国大学放送コンテストの映像CM部門の規格に沿ったもので作品のテーマは「大人」となる。完成した4作品のうちからプロジェクト内で2作品を決め、それをNHK全国大学放送コンテストの映像CM部門に出展する。

2月には2回目のCM制作を行う。2回目のCM制作では1年間でやったことの復習としての意味も込めて、1人1作品の制作を行う。作品のテーマとして①クリエ映像制作プロジェクトの宣伝、紹介映像 ②外国人に伝えたい日本の魅力 の2つのうちから各々どちらかを選び制作する。

どちらも作品の規格は統一で、共同で4月にプロジェクト内で試写会を行う。その後、①クリエイティブ映像制作プロジェクトの宣伝、紹介映像 がテーマの作品は新歓時期にプロジェクトに興味を持ってくれた見学者に見てもらおうなどして使用。②外国人に伝えたい日本の魅力 がテーマの作品は完成後「外国人に伝えたい私のNIPPON」学生動画コンテストに提出する。

4.具体的な活動内容

機材講習会

昨年度に比べ、メンバーも増えたので、少しでもクリエイティブ映像制作プロジェクトにある機材に触れる機会が多くなるよう4月～7月にかけて機材講習会を頻繁に行った。空きコマや放課後に上回生が機材講習会を設定し、メンバーに連絡し参加者を募り、実施すると言った形で、最低週に1回は行った。三脚やカメラ、照明、録音に使用する機材の使い方、撮影した動画を編集機に取り込み、Adobe Premiere Proを用いての編集の仕方を学び、実際に触れながら学ぶことができた。



機材講習会風景

昨年度はこういう場が少なく、実践の場で触りながら身につけていくことが多かったので、今年度は事前に機会を設けることでそれぞれ機材になれることが出来た。

第一回CM制作

第一回CM制作は6月～8月にかけて行った。この時期のCM制作は毎年の定番となっており、3人～4人で班を組み、1年生が主体となって作品作りを行い、完成したものはNHK全国大学放送コンテストの映像CM部門に提出する。今年は計4班ができ、そのうち2作品を提出した。作品

テーマは毎年コンテストの主催側から発表され、今年度は「大人」で30±1秒の作品を制作した。

制作は、班ごとに時間を合わせて集まり行った。まずはそれぞれ計画表の作成を行い、アイデア出し、撮影、編集の期間を決め、日程に無理がなければ制作を開始した。最初に計画表を設けることによって、初めての作品作りにおいて期限を意識して取り組みを行えたと感じている。

企画段階では、少人数で班を組むことにより、一人ひとりの意見が通りやすく、自分が制作に関わっていると実感することで積極性、主体性を尊重することができたと考えている。撮りたい映像のアイデアを出し上回生はそれにアドバイスしながらどんなCMを撮るか決めていった。

次に、絵コンテを書き、必要な小道具や撮影場所の準備をし、撮影に取り掛かった。撮影を行う際は必ず上回生が1人は付き添い、機材を安全に使用できているか、講習会で習ったことを忘れずにできているか確認しながら行った。室内や屋外、天気の違いにより、カメラの設定や照明の有無などが違ってくるので、やはり講習会だけではなく、こうして実践でカメラを使っていくことは重要で、班それぞれ違った環境のもと良い経験が詰めたのではないと思う。



撮影風景 1



撮影風景 2

撮影が終わると、編集に取り掛かった。編集作業は一人作業なので班の中でも交代で行った。これもまた、編集ソフトの機能などの使い方を教えた講習会とは違い、絵コンテで決定したイメージ通りに編集して映像を仕上げていく作業は講習会で知った知識を身につけ、実用できるようになる良い機会になったと思う。

出来上がった作品は8月にプロジェクト内で試写会を行い、投票でコンテストに出す2作品を決定した。試写会では、メンバーで作品の講評を行い、選ばれた2作品は講評を元にシーンの撮り直しなど改善を行い、無事期限内にNHK全国大学放送コンテストの映像CM部門に提出することができた。

第二回CM制作

第二回CM制作は2月～3月、現在進行形で活動に取り組んでいる。この時期のCM制作は昨年度も行ったものだ。一年の活動の中で、照明、音声、カメラ、編集など担当する部分は様々である。メンバーそれぞれの使ってきた機材には偏りが出てしまうので、一年の最後に1人1作品CMを作ることで、あまり担当しなかった部分も復習しクリエイティブ映像制作プロジェクト全体の目標であるスタッフ全員が一通りの番組の作り方を学ぶの達成を目指す。活動を通して現時点での自分のできること、分からないものは何かを自覚し、これを身につけることを成果として期待している。

5.結果・成果

CM制作のミッションでの結果・成果として、まず、第一に映像制作において重要となる納期までにスケジュールを調節し制作することを新たにプロジェクトに参加することになったメンバーに実感してもらえたと思う。次に、全員が自分たちが主体となって作品について考え、形にしていくことを経験し、映像を制作するということを知ることができた。その過程では基本的な機材の使い方を身につける他、チームで連携してものを作る力も向上したのではないかと思う。また、上回生は教えるという立場につき、理解が浅かった部分など足りないところを自覚し学ぶことができた。その点も含め、このミッションでは1年生も2年生も共にスキルの向上を図れたと考える。目に見える結果として第一回CM制作で作った「大人？」という作品がNHK全国大学放送コンテストの映像CM部門で優勝を果たすことができた。



6.今後の課題・展望

近年、クリエ映像制作プロジェクトでは入賞などの成果が上がっていなかったが、今年度ようやく受賞することができた。しかし、偶然の優勝では意味がない。今回良い結果を残せたということは最低限そこに至るまでの撮影、編集能力は持ち合わせているということだ。その能力を全員が身につけ、プロジェクト全体としてのスキルアップを続けていくとともに、入賞に至らなかった作品は何がいけなかったのかを見つめ、よりよい作品作りに取り組んでいかなければならない。

7.感想

今回CM制作ミッションのリーダーを務めさせてもらいましたが、計画表や進捗状況の確認以外の実際の制作段階でのサポートは班の担当の2年生に任せていたので、私自身も自分の班以外はどうな作品が出来上がるのか全然知らなかった。試写会でいざ見てみると各班ごとに個性が出ていて、それぞれが自主性、積極性を持ってCM作りに取り組んだんだということが分かった。CM以外の活動では多くのメンバーで作品を作っていくことが多いので、こうして意見を出しやすい場を最初に設けたことは良かったと思う。まだ2回目のCM制作も残っているので気を抜かず、クリエ映像制作プロジェクトの技術向上につながる活動にしていきたい。